

## 別紙 1. 補完パターン別ドナー選択方法及び比率式

No	パターン	05	06	07	08	09	10	比率 算出式
		売上金額	費用総額	期首棚卸高	仕入高	期末棚卸高	経費計	
1	a	○	×	×	○	○	○	08-09+10
2	b	○	×	○	×	○	○	07-09+10
3	c	○	×	○	○	×	○	07+08+10
4	d	○	×	○	○	○	×	07+08-09
5	e	○	△	×	×	○	○	06+09-10
6	f	○	△	×	○	×	○	06-08-10
7	g	○	△	○	×	×	○	06-07-10
8	h	○	△	×	○	○	×	06+09-08
9	i	○	△	○	×	○	×	06+09-07
10	j	○	△	○	○	×	×	06-07-08
11	k	○	×	×	×	○	○	06+09-10
12	l	○	×	×	○	×	○	06-08-10
13	m	○	×	○	×	×	○	06-07-10
14	n	○	×	×	○	○	×	06+09-08
15	o	○	×	○	×	○	×	06-07+09
16	p	○	×	○	○	×	×	06-07-08
17	q	○	△	×	×	×	○	06-10
18	r	○	△	×	×	○	×	06+09
19	s	○	△	×	○	×	×	06-08
20	t	○	△	○	×	×	×	06-07
21	u	○	×	×	×	×	○	06-10
22	v	○	×	×	×	○	×	06+09
23	w	○	×	×	○	×	×	06-08
24	x	○	×	○	×	×	×	06-07
25	y	○	△	×	×	×	×	06+09
26	z	○	×	×	×	×	×	05

○：観測

ドナー選択に使用する補助変数

△：時点調整後補完

費用総額補完のため、売上金額を補助変数として費用総額を補完

×：欠測

※ 06費用総額が欠測のパターンで07～10のうち2項目以上が欠測の場合は、

05売上金額の最近隣マッチングでドナーレコードを選択し、

補完対象レコードとドナーレコードの売上金額の比率をドナーレコードの費用総額に乗じて補完する。

※ 06費用総額がH29DBに存在する場合は、

補完クラスごとに算出した比率をH29DBの費用総額に乗じて補完する。